

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム優楽家

## 目標達成計画

作成日: 平成 29年 12月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域密着を求められるが、ホームの周辺は新興住宅街の為、地域住民と密接な関係作りができない。	小中学校の教育機関、担当者と関係を作る。また地域の福祉関係者との関わりを築き、そこを糸口に地域との関係を深める。	地域行事、近隣の奉仕活動、公共の活動の場、学校行事への参加をする。地域の認知症カフェに利用者共々参加する。	6ヶ月
2	33	看取り介護(ターミナルケア)は日々の通常業務ではない為、忘れがちになることがある。	利用者がいつ終末期を迎えられても迅速にまた的確に対応できるように定期的に社内研修をおこなう。	普段から利用者の異変の早期発見、緊急時の対応ができるように職員の意識の向上、会議、勉強会への積極的参加できるように日々促していく。	12ヶ月
3	4	運営推進会議の参加者が限定されている	会議へ参加してもらえる地域の方々への働きかけを行う	利用者の家族、地域の民生委員、支援センターの担当者等の関係部署に定期的にまた継続的に案内、呼び掛けを行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。